

- ①落門の滝の修景工事について
- ②歴史の道について

竹田市教育委員会文化財課

① 落門の滝の修景工事

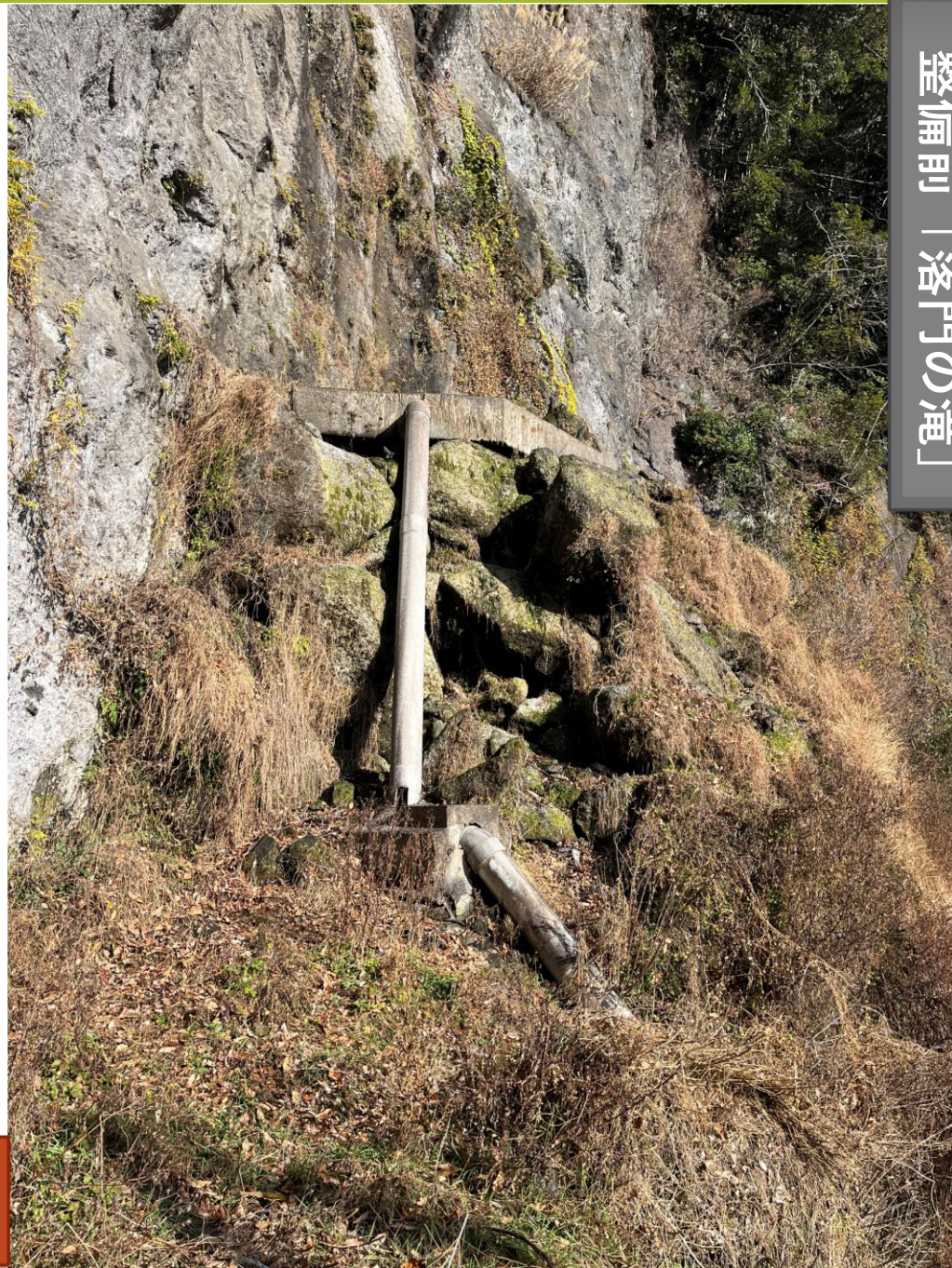
落門の滝

- かつては・・・下木の滝、不動の滝、雲井の滝
- 現在は・・・落門の滝 ← 広瀬淡窓の漢詩に由来
- 城原井路（寛文頃～）の末流・・・農業用水路
- 大正13年（1924年）・・・豊後竹田駅の開業

- 令和6年度・・・国登録記念物（名勝地関係）
- 令和7年度・・・世界かんがい施設遺産

ホームから見た「落門の滝」

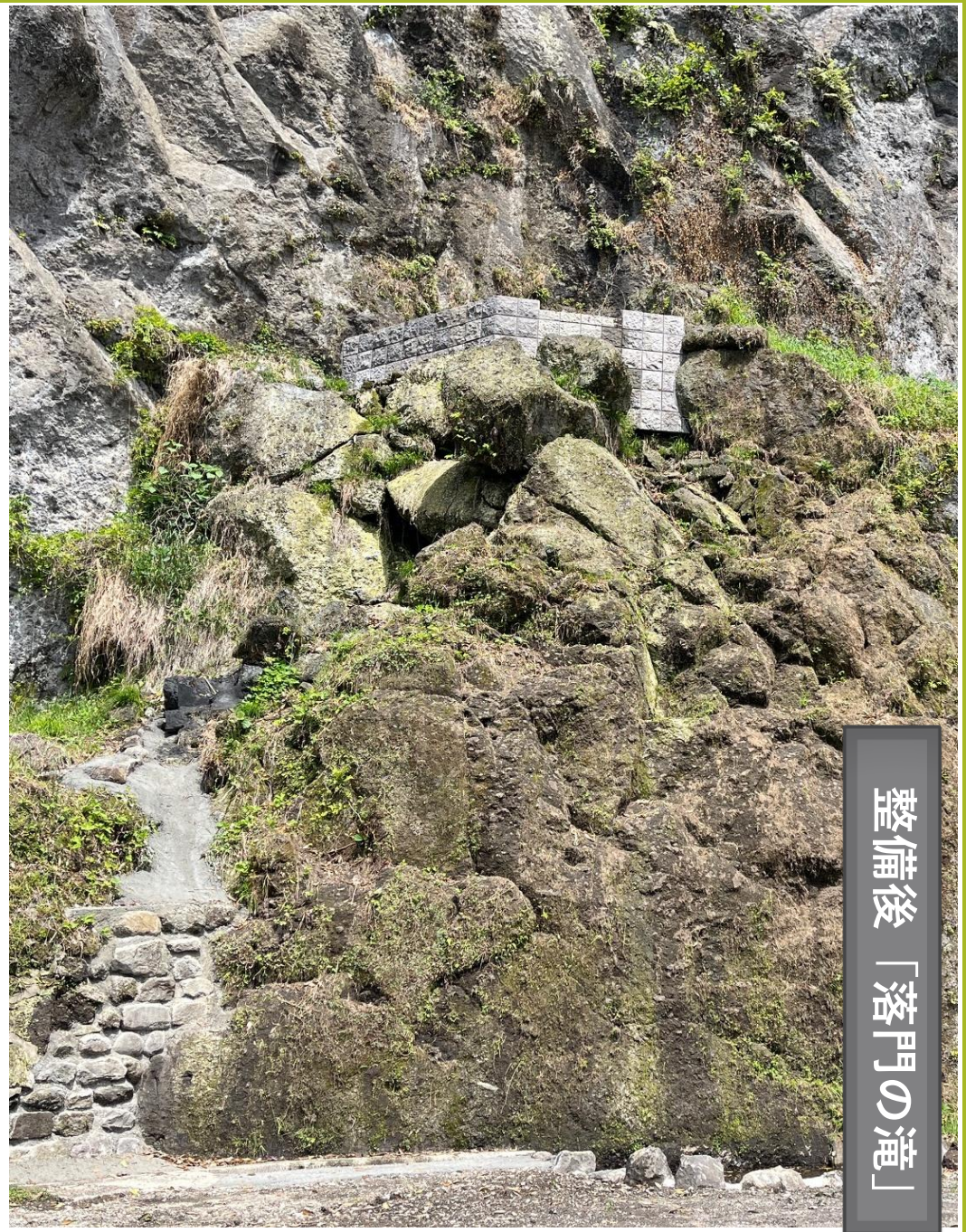




滝つぼの「排水パイプ」など
→ 景観的に改善の必要あり



「ます」の補強と修景
「排水パイプ」の撤去



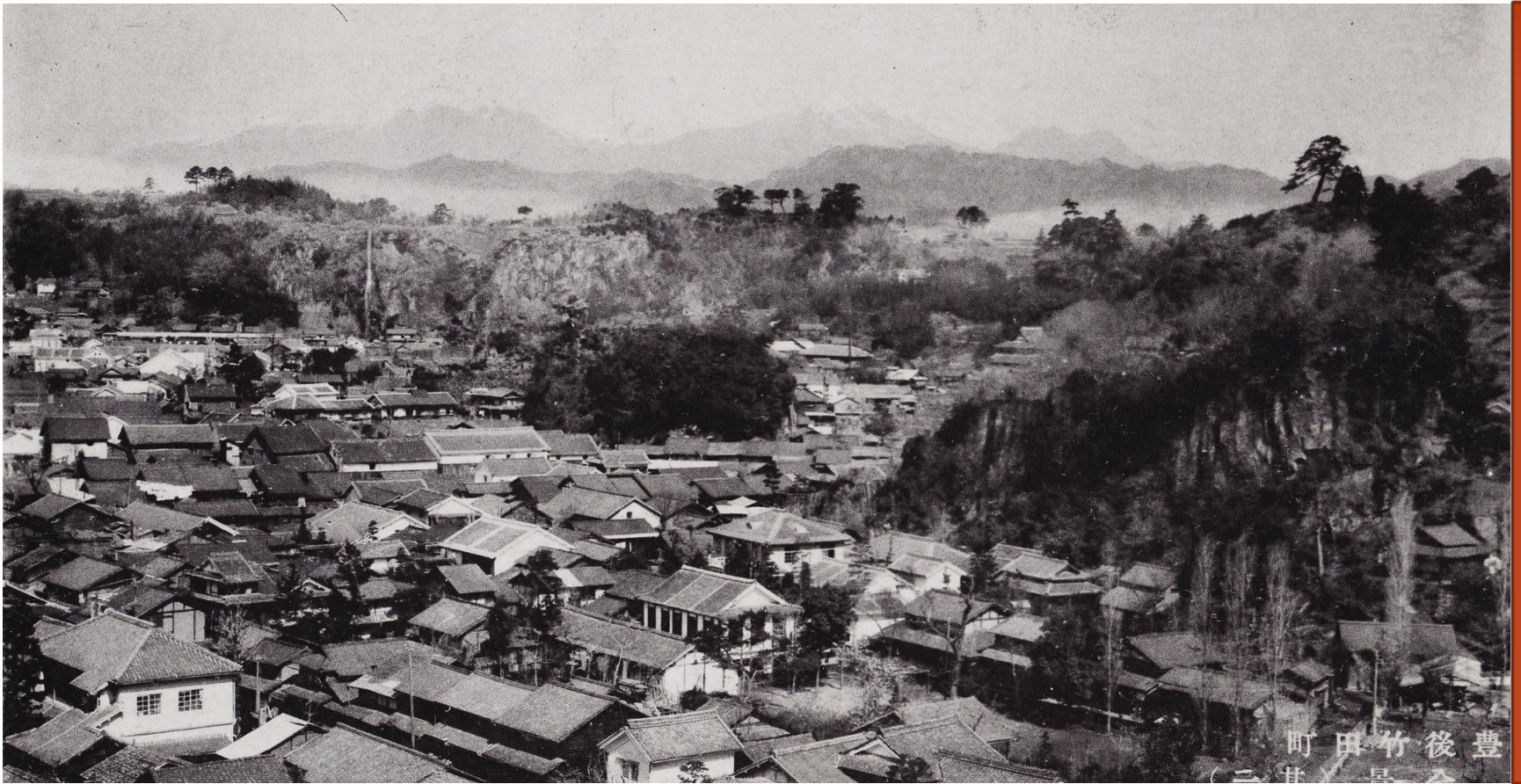
整備後「落門の滝」



江戸時代の絵図



佐久間竹浦 《落門の滝四季真景図》 大正13年（1924）



城下町の風致景観の要を成してきた「落門の滝」の卓越した存在感

「落門の滝」



昔も今も、城下町および豊後竹田駅周辺の景観を形成する重要な要素

② 歴史の道について

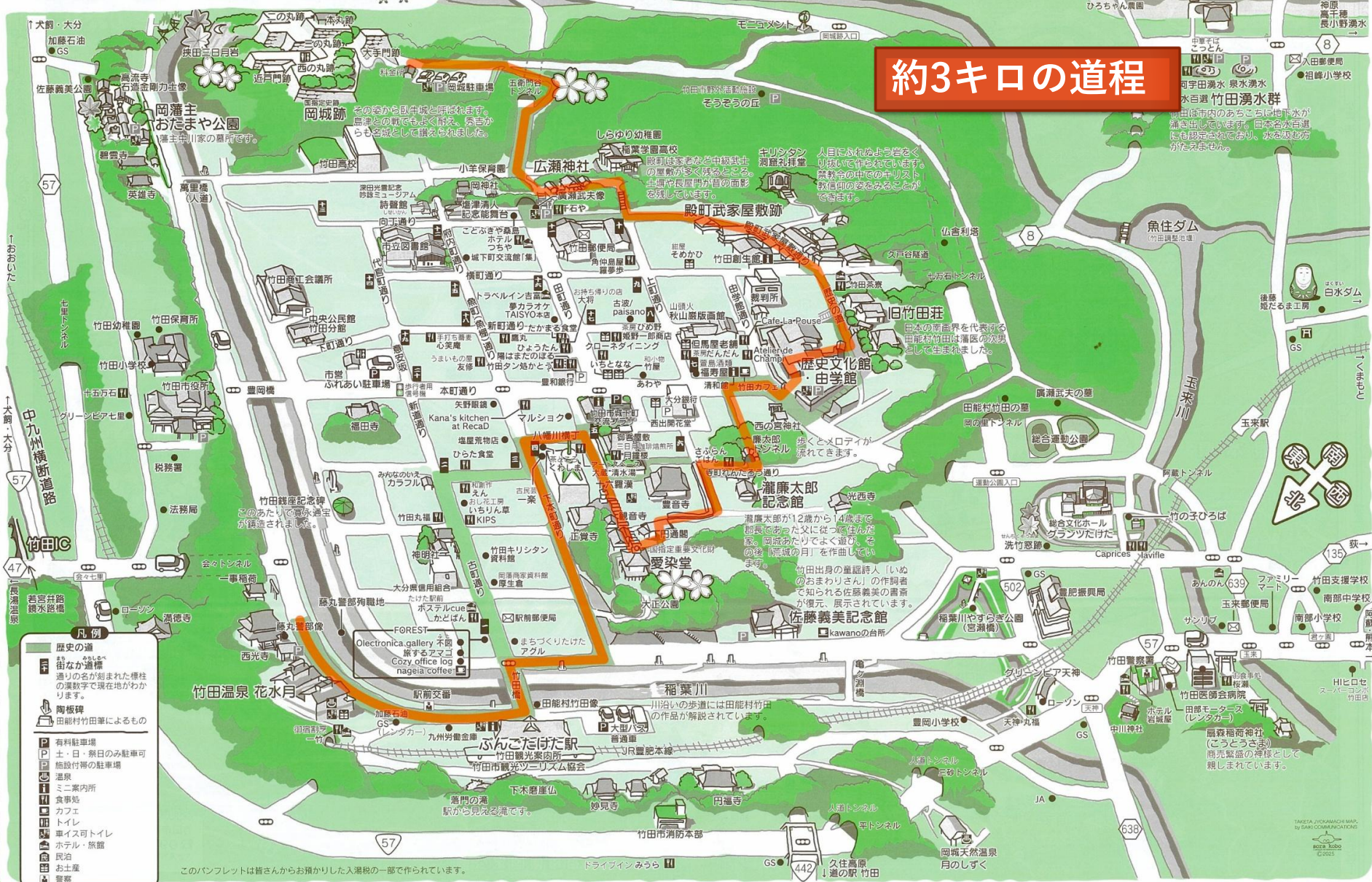
「歴史の道」

- S54～H10・・・歴史の道整備事業（舗装など）
- 豊後竹田駅 ←（歴史の道）→ 岡城跡
- 史跡・博物館・記念館が分布、歴史に触れながら城下町を散策することができる。
- 城下町の観光ルート／ウォーキングコース
- 現状、十分に活用されているとは言えない。

自然・歴史・文化を味わ
お水名湯 田園 観光都市 竹田市ガイド

たけた城下町散歩

約3キロの道程



- 凡例**
- 歴史の道
 - 街なか通称
 - 通りの名が知れた建物の漢数字で現在地がわかります。
 - 陶板碑
 - 田能村竹田によるもの
 - 有料駐車場
 - 土・日・祭日のみ駐車可
 - 施設付帯の駐車場
 - 温泉
 - ミニ案内所
 - 食事処
 - カフェ
 - トイレ
 - 車イス可トイレ
 - ホテル・旅館
 - 民泊
 - お土産
 - 営業

このパンフレットは皆さんからお預かりした入湯税の一部で作られています。

ドライブイン みちら

GS 442 久住高原 道の駅 竹田

日本最大の地下水が湧き出しています。日本名水百選にも認定されており、水も味もおいしいです。

人目にふれぬよう岩をくり抜いて作られています。祭礼会の中でキリスト教に似ていることがよく見えます。

日本の書画界を代表する巨匠前竹田愚庵の久居として生まれました。

瀧廉太郎が12歳から14歳まで部長であった父に倣って住んだ家。同族あたりでよく遊び、その後『流城の月』を作曲しています。

竹田出身の童謡詩人「いぬのおまわりさん」の作詞者で知られる佐藤義美の書斎が復元、展示されています。

扇形稲荷神社(こうとうさま) 商売繁盛の神様として親しまれています。

TARGETA DYNAMIC MAP, BY DATA COMPARISON INC. scale 1:50,000 ©2023

スタート



豊後竹田駅



西光寺

殿町
武家屋敷通



叶町

八幡川横丁

竹田創生館



御客屋敷



岡神社・時鐘

旧竹田荘



十六羅漢

岡城跡



ゴール

歴史文化館



愛染堂



円通閣



豊音寺
二重門



瀧廉太郎記念館

廉太郎トンネル

「歴史の道」のこれから

- 再構築し活用へ・・・城下町散策の主要ルートとして
(観光・教育・健康)

《検討課題》

- 基本ルートに新たな要素を加え、ブラッシュアップ
- 案内板、説明板、パンフレット等の再整備
- デジタル技術の活用
- インバウンド対応（多言語解説）
- 駅前整備との連携・・・スタート地点
- 観光ボランティアガイドの育成と連携